

グアニアピッグ由来L-アスパラギナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1577

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アスパラギナーゼ (EC 3.5.1.1, USAN) またはコラスポース (BAN) は、アスパラギンをアスパラギン酸に加水分解する反応を触媒する酵素です。アスパラギナーゼは微生物によって発現および生成される酵素です。

別名 EC 3.5.1.1; アスパラギナーゼ; コラスポース; L-アスパラギナーゼ; L-アスパラギン アミドヒドロラーゼ

製品情報

種	モルモット
由来	E. coli
形態	25 mM トリス pH7.5, 500 mM NaCl, 2 mM DTT, 1 mM EDTA
EC番号	EC 3.5.1.1
CAS登録番号	9015-68-3
分子量	~63 kDa
純度	>99% (SDS-PAGE)
活性	> 1,400 IU/mg
濃度	3mg/mL
単位定義	1単位のモルモットL-アスパラギナーゼは、pH 7.5、37°Cで、基質として2 mMのAsnを用いた連結酵素系によって測定された場合、1分あたり1.0 μ moleのAsnをAspに交換します。

保管・発送情報

保存方法 -80°Cで